

パワーポイントの使いこなし

青山 亨
東京外国語大学

注意:1~9のスライドは、デザインを適用する前の状態を示しています。

説明の流れ

1. パワーポイントの基本概念
2. パワーポイントでできること
3. スライド作成の基本的流れ その1
4. スライド作成の基本的流れ その2
5. スライド作成の応用テクニック
6. プレゼンテーション実施上の注意点
7. まとめ

パワーポイントとは？

- パワーポイントはプレゼンテーションの道具。
- プレゼンテーションとは、言葉とそれを助ける視覚資料を使って、その場にいる多数の人々に、自分の考え(アイデア、意見、発見など)を、提示すること。
- present>presentation。「もらってうれしい」

1. パワーポイントの基本概念

- スライド
- オブジェクト
- 両者の関係は紙芝居と切り紙に類似

スライドとオブジェクト:紙芝居と切り紙

- プレゼンテーションの最小単位はスライド
 - スライドは紙芝居の1枚の紙に相当
- スライドに貼り付けられたものがオブジェクト
 - オブジェクトは紙芝居に貼られた切り紙に相当
 - スライド上の図、写真、表や文字テキストはすべてオブジェクト

スライドの特徴

- 追加ができる
- 複製が作れる
- 順番の変更ができる
- 削除ができる

- 視覚効果:画面切り替え

オブジェクトの特徴

- 追加・削除ができる
- 配置が変更できる
- 重ねることができる
- 大きさの変更ができる
- オブジェクトによっては、色・形の変更ができる

- 視覚効果:アニメーション。ただし、やりすぎは禁物

2. パワーポイントでできること

- 説明:聴衆に新しい情報や概念を伝える
 - 例:「インドネシア各地方の子どもの遊び」
 - 例:「インドネシアの遊びの場面」(写真)
- 説得:聴衆にある行動を取るよう説得する。
 - 例:「語劇に多くの観客を呼ぶための戦略」

パワーポイントでできること: 注意点

- もっとも大切な要素:
 - データ(事実)
 - データを説得的につなぐストーリー(論理)
- 二次的な要素:
 - デザインやアニメーションなどの視覚的な効果
 - しばしば本末転倒となるので注意

パワーポイントの使いこなし

青山 亨(東京外国語大学)

説明の流れ

1. パワーポイントの基本概念
2. パワーポイントでできること
3. スライド作成の基本的流れ その1
4. スライド作成の基本的流れ その2
5. スライド作成の応用テクニック
6. プレゼンテーション実施上の注意点
7. まとめ

パワーポイントとは？

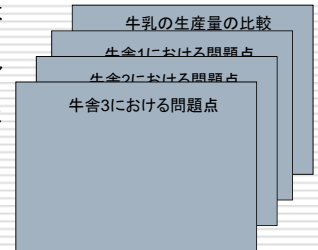
- パワーポイントはプレゼンテーションの道具。
- プレゼンテーションとは、言葉とそれを助ける視覚資料を使って、その場にいる多数の人々に、自分の考え(アイデア、意見、発見など)を、提示すること。
- present > presentation。「もらってうれしい」

1. パワーポイントの基本概念

- スライド
- オブジェクト
- 両者の関係は紙芝居と切り紙に類似

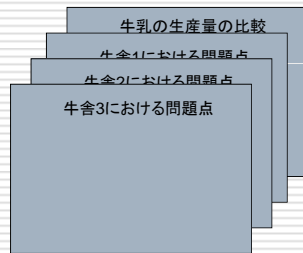
スライドとオブジェクト: 紙芝居と切り紙

- プレゼンテーションの最小単位はスライド
 - スライドは紙芝居の1枚の紙に相当
- スライドに貼り付けられたものがオブジェクト
 - オブジェクトは紙芝居に貼られた切り紙に相当
 - スライド上の図、写真、表や文字テキストはすべてオブジェクト



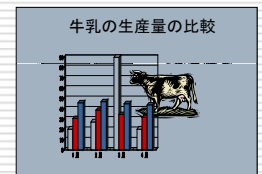
スライドの特徴

- 追加ができる
- 複製が作れる
- 順番の変更ができる
- 削除ができる
- 視覚効果: 画面切り替え



オブジェクトの特徴

- 追加・削除ができる
- 配置が変更できる
- 重ねることができる
- 大きさの変更ができる
- 色・形の変更ができる(オブジェクトの種類による)
- 視覚効果: アニメーション。ただし、やりすぎは禁物



2. パワーポイントでできること

- 説明: 聴衆に新しい情報や概念を伝える
 - 例: 「インドネシア各地方の子どもの遊び」
 - 例: 「インドネシアの遊びの場面」(写真)
- 説得: 聴衆にある行動を取るよう説得する。
 - 例: 「語劇に多くの観客を呼ぶための戦略」

パワーポイントでできること: 注意点

- もっとも大切な要素:
 - データ(事実)
 - データを説得的につなぐストーリー(論理)
- 二次的な要素:
 - デザインやアニメーションなどの視覚的な効果
 - しばしば本末転倒となるので注意

ありがとうございました。

最後に一枚、お礼のスライドを
入れておくスマートです。

2005-10-25